

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	岐阜県	市町村名	中津川市
-------	-----	------	------

プロジェクト名	行政改革やろまいか！											
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 当市の財政事業は、実質公債費比率が県下ワースト4(平成19年度実質公債費比率)と大変厳しい状況ですが、自立的で持続的な中津川市であり続けるためには必要な事業を実施していかなければなりません。</p> <p>そのためには「自ら考えて物事を組み立てられる職員づくり」、「実行にあたってはチーム一丸となって取り組める体制づくり」による市役所力アップなどを柱とした行政改革に全庁的に取り組み、「新しい中津川市役所」を創ります。</p> <p>(具体的な成果目標)</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">基準値 (17年度)</td> <td style="text-align: center;">目標値 (22年度)</td> </tr> <tr> <td>■職員数</td> <td style="text-align: center;">1,065人</td> <td style="text-align: center;">850人</td> </tr> <tr> <td>■経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">82.4%</td> <td style="text-align: center;">80.0%</td> </tr> </table>				基準値 (17年度)	目標値 (22年度)	■職員数	1,065人	850人	■経常収支比率	82.4%	80.0%
	基準値 (17年度)	目標値 (22年度)										
■職員数	1,065人	850人										
■経常収支比率	82.4%	80.0%										
プロジェクトの期間	平成19年度～22年度	政策分野の分類 (①～⑪)	①									
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/wiki/images/0/04/Gyokaku.pdf											
プロジェクトを構成する具体の事業・施策												
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)										
市民による行政改革委員会運営事業	「市民による行政改革委員会」に客観的な立場から評価を行っていただき、市民が望まない事業をスクラップし、市民が真に望む事業への転換を図り、より少ない人員と予算で運営できるような市役所のスリム化を図ります。	3,050 (509)										
市税特別徴収対策	企画部内に市税特別徴収税班を設置し行政経験豊富な職員を配置して、増加及び複雑化している市税滞納案件の整理を進めていきます。											
職員による事務改善提案	事務に対する職員の建設的な改善提案を奨励して簡素化・効率化を図り、その効果を全庁的に広げることで、市民サービスの更なる向上と経費の削減に努めます。											
職員の意識改革による市役所力アップ	「新しい中津川市役所」を実現するために、行革情報提供ツール「行革通信」の発行、行革推進リーダーの設置による「QC活動」の活発化、民間企業経営者等による研修会の開催、管理職昇格試験などを実施し、職員の意識改革による市役所力のアップを目指します。											
市民の力をお借りする協働体制づくり	自助、互助、公助の役割分担を明確にしたうえで、地域コミュニティーに力をお借りするものをピックアップして、積極的な協力がいただけるような展開を図ります。											
職員850人体制	「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを基本とした定員の適正化を図るため、合併後の人口8万6千人の市にふさわしい組織として、医療機関を除く職員数を850人とすることを目指します。											
総 計		3,050 (509)										
その他特記事項												